



## ITHD グループ 2011 年度入社式 社長メッセージ

ITホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡本晋、以下ITHD)は、グループ各社の「2011年度入社式社長メッセージ」を発表いたします。

ITHDグループでは、2011年4月1日にグループ各社にて「2011年度新入社員入社式」を行い、グループ全体で649名の新入社員が入社しました。

社名	人数	社名	人数
TIS 株式会社	325 名	クオリカ株式会社	15 名
インテック株式会社	104 名	AJS 株式会社	15 名
株式会社アグレックス	71 名	その他グループ会社	119 名
		<b>ITHD グループ 合計</b>	<b>649 名</b>

<要旨>

### 【ITホールディングス株式会社 代表取締役社長 岡本 晋】

皆さん入社おめでとうございます。ITホールディングスを代表して皆さんのグループ参加を歓迎します。

3月11日、未曾有の地震が発生し、東北地方をはじめ日本全体が大きな痛手を受けました。ITHDグループでも、仙台市に事業拠点をもつグループ会社が被災しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

ITホールディングスはTIS、インテックをはじめとする約60社2万人にも及ぶ大企業集団です。皆さんは選ばれてこの大企業集団の一員となったわけです。大いに誇りを持ってください。

今、IT業界は大きなパラダイムシフトの真っ只中にあります。お客様のご希望に合わせソフトウェアをつくり、環境を整え、運用サービスを提供するという従来型の事業は、クラウドコンピューティングなどのサービス提供型に転換しようとしています。ITの利用は、これまでの個々の企業単位のものからコモディティ化しようとしています。このような時期に業界に身を投じた皆さんには、無限の可能性が待っています。新しいもの、未知のものへの挑戦が皆さんの未来を切り開きます。

社会人1年目は、何を聞いても先輩は喜んで教えてくれます。この1年を有効に使うことがこの先皆さんの未来を明るいものにしてくれるのです。この1年でIT技術の流れ、基礎、最新の利用方法などIT技術者として必要なことを貪欲に吸収してください。2年目からは仕事自体が忙しくなるので、1年目のスタートダッシュが大切です。月日が経つのは本当に早いものです。

社会人になった今、目的意識をはっきり持って自分の進む道を決めて、一步一步着実に進んでください。一人前になった皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

日本は今、国を挙げて復興に向けて取り組んでいます。ITHDグループも、ITの面から被災されたお客様企業をはじめ、日本全国を支援しています。皆さんも新しいITHDグループの一員として、一緒に日本の復興を支援していきましょう。

## 【TIS 株式会社 代表取締役社長 桑野 徹】

まずは、先月に発生した東北関東大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当社の関係会社においても被害にあった会社がありますが、一日も早い被災地域の復興をお祈りいたします。

新入社員の皆さん、本日は入社おめでとうございます。皆さんが、社会人として新たな一步を踏み出すこの日に、当社もTIS、ソラン、ユーフィットの3社が一つになり新生TISとして新たな一步を踏み出します。社名こそTISですが、私は3社が集まり全く新しい会社になると考えています。

今回の合併の目的は、日々変わっていく事業環境に、早期にスピード感を持って適応し、そこから競争力・投資力を強化していくことです。新入社員の皆さんにとっても、活躍のフィールドが、事業的にも地理的にも広がったと言えます。

私から、新生TISの新入社員の皆さんにお願いしたいことは3つです。

- 自分自身の価値、バリューを早く見出し、発揮していく
- グローバルな視点を持つ
- 最後までやり遂げる

この3点を意識しながら、自分自身のプロフェッショナルとしての価値を築いてもらいたいと思います。

今回の合併では、一日も早く一体感を出すことが重要であると考えています。新生TISの1期生である皆さんには合併の象徴として、この一体化を先導していく、リーディング的な役割を期待しています。

これから始まる新生TISの将来を担う皆さんが踏み出す一步一步は、新生TISの一步一步でもあります。「自らの成長が、会社の成長である」と考え、今日から、一日一日を大切に、失敗を恐れず何事にも積極的にチャレンジしていきましょう。

そして、我々と一緒に新しいTISを創っていきましょう。

## 【株式会社インテック 代表取締役社長 金岡 克己】

「知識は力なり」

このたびの震災から3週間が過ぎました。いまだ死者・行方不明者の実数は明らかになっておらず、また、福島第一原子力発電所の問題、電力不足による計画停電なども大きな社会問題となっています。

こうした環境の中、無事に平成23年度の入社式を挙げていくことは、誠にありがたいことであると感じています。本日入社される皆さまは、男子68名、女子36名、あわせて104名です。新入社員を加え、インテックは総勢3,828名という精鋭集団を形成するにいたりました。

東北関東大震災が私たちに伝えたメッセージには多くのものがあると思います。一つは「正しい情報伝達の重要性」、二つは「日本人の民度の高さ」、三つは「情報の大切さ」です。連日、正しいもの、誤ったもの、種々の震災情報、原発情報に触れるうちに、私には「知識は力なり」という言葉が浮かんできました。例えば、放射線量の問題も正しい知識があれば無用な恐れはなくなります。

私たちが従事しているのは、情報サービス産業です。まさに、情報、知識を取り扱う産業です。ここに集う私たちが、情報、知識の大切さを蔑ろにするわけにはまいりません。一方、知識が一朝一夕に身につくと思うのは大間違いです。何々学と名付けられているものの多くは、先人の智恵と汗との結晶であり、熟読玩味し、自らの血肉とする努力を重ねなければなりません。

東北関東大震災の直後という厳しい時期に、皆さまの社会人生活がスタートします。被災された方々に深甚なるお見舞いを申し上げるとともに、皆さまが正しい知識を身につける態度を培い、社会に力強く踏み出されることを祈念して、歓迎のご挨拶といたします。

### 【株式会社アグレックス 代表取締役社長 上野 昌夫】

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。アグレックスの新しい仲間となったこと、心より歓迎します。ことのほか厳しい就職難の中、アグレックスを志望し、入社された皆さんの力に大いに期待しています。

このほど東北地方太平洋沖地震による未曾有の大災害が起こりました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。アグレックスでは仙台センターなどが被災しましたが、幸いにも人的被害は免れ、センター機能も現在は復旧しています。

皆さんの門出に当たってひとつお願いしたいことがあります。それは仕事に誇りを持っていただきたいということです。アグレックスは保険会社、銀行、カード会社、製薬会社など、わが国を代表する多くの企業向けに IT サポートやアウトソーシング受託を行っています。アグレックスは黒子として表に出ることはありませんが、これらの企業が提供する商品やサービスはアグレックスの働きなくしては消費者の手元に届きません。このようにアグレックスが行っている事業が、国民生活に大きな役割や責任を負っていると同時に、社会の発展に貢献していることを誇りに、仕事に邁進していただきたいと思えます。

このたびの震災被害は余りにも大きく、その影響は測り知れませんが、今までの我が国の経済・社会の有りようを大きく転換させるに違いありません。もちろん、アグレックスの経営を取り巻く諸条件も大きく変わらざるを得ないでしょう。しかし、中・長期的には労働人口の減少によるアウトソーシング需要や IT サービス需要が拡大していくことには変わりありません。震災復興からその先の成長に向けてアグレックスが果たすべき役割はますます大きくなります。どうか皆さん、アグレックスの仕事に誇りを持ち、未来に希望を抱いて共に進んでいきましょう。

### 【クオリカ株式会社 代表取締役社長 西田 光志】

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

情報サービス業界を取り巻く状況は依然として厳しく、また、つい先日発生した「東日本大震災」による被害は戦後最大のものであり、被災された方々はもちろんのこと日本人全体への試練として受け止め、一刻も早い復興を目指さなければならない状況にあります。

このような状況のもと、私達は IT 企業としての使命を心に留めるとともに市場で勝ち残るため、今年を将来に向けた成長のターニングポイントにしたいと考えています。

そこで当社はこれからの10年先を見据えた「VISION 2020」を策定し、「今後のクオリカの進むべき方向性を明示して成長する」という目標を掲げました。グローバル化対応や人材育成、また、IT資産の保有からサービス利用への転換を促す「サービス型ビジネスモデル」を今後一層強化していきます。

皆さんも中国語や英語などの語学力やIT技術をこれからもっと磨いて、是非このビジョンの達成に力を貸していただきたいと思えます。

皆さんのチャレンジングスピリットで当社の新たな活力となることを心から期待しております。

## 【AJS 株式会社 代表取締役社長 藤田 純司】

先月、大地震が起きました。被災された方に心からお見舞いを申し上げます。僕らには日本を再び成長させる使命を負っています。若い皆さんに期待します。

### 1 人生の岐路 変化はチャンス

2011年4月1日はみなさんにとって人生の大きな岐路です。人生の岐路は、3つです。進学、就職、結婚です。AJSを選択したことは、人生に大きな影響を与えます。このチャンスを生かすも生かさないもみなさん次第です。

### 2 五年後

みなさんには面接でITの技術進歩について聞きました。

「5年先、世の中を席捲しているIT技術な何でしょうか？」

私は「クラウドコンピューティング」と思います。AJSも仕事を変えていかねば、生き残れません。入社してからも勉強する癖をつけて下さい。先輩に追いつき追い越せです。

### 3 コミュニケーションとは

AJSは比較的コミュニケーションが出来る会社です。みなさんも異口同音に社員同士のコミュニケーションの良さを感じてくれています。コミュニケーションとは心と心の距離です。AJSは社員全員お互いに〇〇さんと呼ぶ文化です。「さん」づけはヒエラキー組織を意識しません。同時に心と心の距離を縮めます。

### 4 自分の価値

学生と社会人の決定的な差は、授業料を支払うか給与を受け取るかプラスとマイナス、天と地の差があります。自分の実力を高めて、早く価値を社会に還元して下さい。一人ひとりがより大きな価値が産み出せるよう毎日努力して下さい。

本日が、諸君にとって輝かしい社会人のスタートです。本日の輝きがずっと続きますよう。

以上

---

### 【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

ITホールディングス株式会社 管理本部広報部 橋田

TEL : 03-6738-7557 FAX : 03-3503-2551 E-mail : pr\_info@itholdings.co.jp